



# 校報 たいらだて

## 3 学期スタート

保護者の皆様には、よい新年を迎えられたことと存じます。旧年中は本校の教育諸活動へのご理解とご協力、大変ありがとうございました。今年もよろしくお願い申し上げます。昨年末よりインフルエンザ等の感染症が相変わらず猛威を振るっている中、そろって始業式を迎えることできたことに感謝しております。

始業式では二つの話をしました。一つ目は、今年の干支について。二つ目は「あいさつ」について話しました。

干支については今年の干支は乙巳（きのとみ）。芽が出たものが成長し成熟していくという意味があります。そのことから「努力を重ね、しっかりできるようにしていくこと」ができるようになりたいことを話しました。

「あいさつ」については、あいさつの意味について考え、私たちの自慢になりつつある、「誰かのために手を使う」とことと同様に、相手を思いやるあいさつができるようになりたいということを話しました。

3学期は少ない日数ではありますが、子ども達一人一人がなりたい自分になれるよう、実り多い1年となるよう教育活動を進めてまいります。今後ともご支援とご協力をお願いいたします。

巳（み：へび）⇒乙巳（きのとみ）

12



めぶき せいじゆく  
芽吹きが成熟する



どりよく かさ ものごと あんてい  
「努力を重ね、物事を安定させていく」

あいさつ

6

あいさつ = 挨拶



お ころ ひら  
挨 = 押す（心を開く）

せま ちか  
拶 = 迫る（心に近づく）

あいさつ

5

あいさつ = 挨拶



たが  
お互いが心を開く

にんげんかんけい いっぼめ  
人間関係をつくる一歩目



【始業式提示資料より】



児童会代表の作文より抜粋

今日から3学期が始まります。3学期は1年のまとめをし、次の学年の準備をする学期です。この1年で頑張ったことや成長したことをしっかりまとめられるようにがんばりましょう。

また、3学期はとても寒く、いろいろな病気が流行する時期です。手洗いやうがいをし、健康に気を付けて過ごしましょう。

今年もスキー教室があります。自分の目標をもって楽しく取り組みましょう。

そして、児童会のリーダーは5年生に引き継がれます。新しいリーダーのもと来年度に向けてがんばってください。

# 作品展開催

冬休みの作品展が（21日～27日）開催されます。今回からタブレットを活用してまとめることも一つの方法としました。いくつかの発表を見ましたが、授業で学んだ方法を活かしてまとめていました。調査した資料をグラフや表を用いながらまとめていく力をつけていくことは、今後の課題だと感じています。学習成果発表会では、高学年の子ども達がグラフを作成・活用している場面もありました。せっかく算数や社会で学んだ資料を活用する力を活かせるようにしていきたいと思っています。

子ども一人一人が、如何に自分の思いをもって取組めるか、さらには試行錯誤しながら形にしていくかが一番大切なことと考えています。決まったことではなく、自分で答えを見つけ出していくことが子ども達につけてほしい力の一つです。保護者の皆様には、お子さんの思いを形にするべく支え導いてくださったことに感謝しております。作品は工作や研究、調理など多岐に及んでいました。今後も保護者の皆様には、子ども達が悩んだときや困ったときに知恵を貸していただければ幸いです。



## 平舘実践区教育振興運動

【作品展示から】

1月24日（金）は、平舘実践区の教育振興運動実践交流会・講演会が開催されます。今年は講師に岩手日報社の菊池健生氏をお呼びして、「南極探見500日」と題してご講演をいただきます。オーロラやペンギン、観測隊の方々等、南極での実際の暮らしや環境についてお話をいただきます。皆様、お誘いあわせの上、ご来校ください。

また、現在今年度をもって八幡平市教育振興運動推進協議会を解散することで進んでおります。これに伴い、当実践区も解散する方向で当日の臨時総会でお諮りいたします。



1月24日の日程

13:15～

実践交流会・臨時総会

14:00～

講演会

演題「南極探見500日」

講師 菊池健生氏

## ある日の出来事から

- ◇ 始業式の朝。ある子が研究の制作物を手に歩いてきました。何を研究したのか尋ねると、タイトルを教えてくださいました。『お年玉の由来』についての研究で、簡単に言うとどういう理由なのかも尋ねました。すると、嬉々として話の順序良く簡潔に教えてくださいました。調べたことがしっかりと自分の中に位置づいていることに感心しました。私も勉強になりました！
- ◇ 始業式の前、なんと10分前に体育館に静かに座って居たのは5年生と3年生。さすがにまだ早いかなと思ながら体育館に行ったので、とてもびっくりしました。「さすがです！」と声をかけ、5年生には「次のリーダーは違うね」と合わせて声を掛けました。そのあと続々と集まってきた子ども達。5分前には自分たちで静かに並びました。最高のスタートとなりました！  
（もちろん、私からの話の最初に5分前に始められる素晴らしさを誉めました）